



令和4年6月24日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

6月23日(木)午後9時頃、海上自衛隊は、宮古島(沖縄県)の東約150kmの海域において、同海域を北西進する中国海軍ドンディアオ級情報収集艦1隻(艦番号「795」)を、また、宮古島の南約130kmの海域において、同海域を北進する中国海軍ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦1隻(艦番号「131」)及びジャンカイⅡ級フリゲート1隻(艦番号「529」)を確認した。

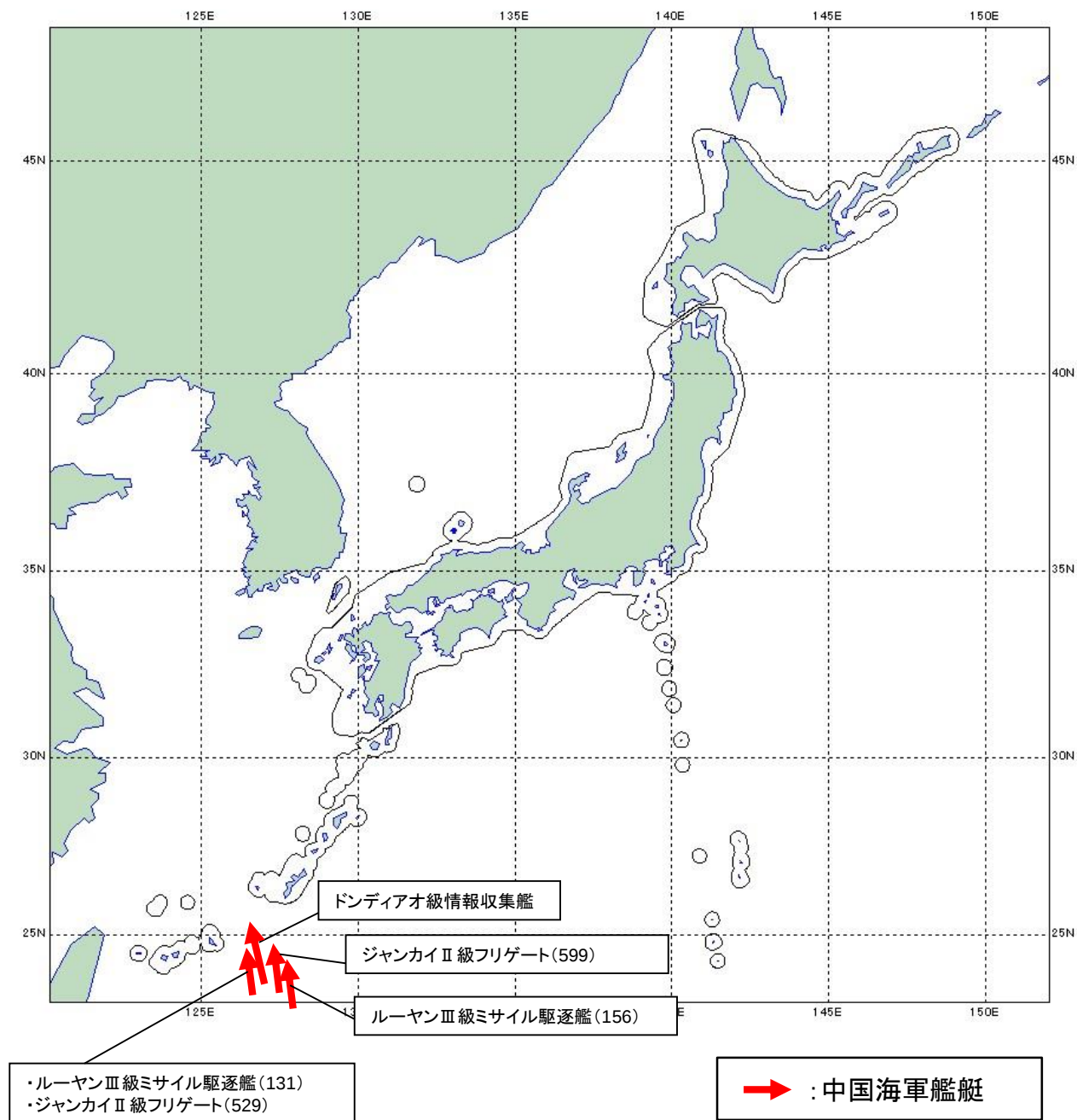
また、同日午後10時頃、宮古島の南東約160kmの海域において、同海域を北東進する中国海軍ジャンカイⅡ級フリゲート1隻(艦番号「599」)を、また、宮古島の南東約200kmの海域において、同海域を北進する中国海軍ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦1隻(艦番号「156」)を確認した。

その後、これらの艦艇が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海に向けて航行したことを確認した。

なお、ドンディアオ級情報収集艦1隻は、6月2日(木)午後9時頃、久米島(沖縄県)の北西約130kmの海域を南進し、その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進したものと同一である。また、ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦1隻(艦番号「131」)及びジャンカイⅡ級フリゲート2隻は、同月21日(火)午後2時頃、久米島(沖縄県)の北西約280kmの海域を南東進し、その後、沖縄本島と宮古島の間の海域を南進したものと同一である。さらに、ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦1隻(艦番号「156」)は、同月22日(水)午前6時頃、宮古島の北東約160kmの海域を南東進し、その後、沖縄本島と宮古島の間の海域を南進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第2護衛隊所属「あさひ」(佐世保)、第46掃海隊所属「ししじま」(沖縄)及び第5航空群所属「P-3C」(那覇)により、情報収集・警戒監視を行った。

行 動 概 要



ドンディアオ級情報収集艦(795)



ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦(131)



ジャンカイⅡ級フリゲート(529)



ジャンカイⅡ級フリゲート(599)



ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦(156)

